

科目名	証券投資論 Security Investment						
科目担当者	本田信雄 HONDA Nobuo						
単位数	2	配当年次	3年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科[専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	<p>本講義では、主に、投資の基本概念や証券投資に関する諸理論(歴史的展開およびその内容)について説明し、最新の投資技法にまでおよぶ。</p> <p>講義内容は、まず投資の基本概念について説明し、次に証券投資論の展開について、主にポートフォリオ理論および資本市場理論を中心にみていく。そしてその後、これらの内容を踏まえた上で、さらに市場の効率性に関して検討していく。そして最後に、最新の投資技法について講義していく。</p>						
授業の到達目標	<p>①証券投資に関する諸理論の内容を理解する。</p> <p>②効率市場および効率市場仮説について理解する。</p> <p>③最新の投資技法について理解する。</p>						
授業計画・内容	1	証券投資の基礎(1)ー投資の基本概念①(投資とは、将来価値と現在価値)					
	2	証券投資の基礎(2)ー投資の基本概念②(投資のリターンとリスク)					
	3	証券投資論の展開(1)ー概説					
	4	証券投資論の展開(2)ーベンジャミン・グレアムの証券分析論①(理論成立の時代的背景、投資と投機の違い)					
	5	証券投資論の展開(3)ーベンジャミン・グレアムの証券分析論②(本質的価値とは、グレアムの業績)					
	6	証券投資論の展開(4)ーポートフォリオ理論の成立と発展①(歴史的展開とその内容)					
	7	証券投資論の展開(5)ーポートフォリオ理論の成立と発展②(マーコビッツ理論)					
	8	証券投資論の展開(6)ーポートフォリオ理論の成立と発展③(シャープ理論とその実用化)					
	9	証券投資論の展開(7)ーポートフォリオ理論の拡張(資本市場理論)					
	10	効率市場仮説(1)ー効率市場とは、株価の予測可能性、ランダム・ウォーク仮説					
	11	効率市場仮説(2)ー効率市場仮説とその検定例①					
	12	効率市場仮説(3)ー効率市場仮説とその検定例②、およびその反証(市場アノマリー等)					
	13	最新の投資技法の展開(1)ー敗者のゲーム論					
	14	最新の投資技法の展開(2)ー敗者のゲーム論とインデックス・ファンドの誕生					
	15	最新の投資技法の展開(3)ーインデックス・ファンドの実用化					
授業外学修 (事前学修)	配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく(毎週 2 時間)						
授業外学修 (事後学修)	配布資料・講義ノートに目を通し復習し、課題実施に備えておく(毎週 2 時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	前期末定期試験(またはレポート) 講義時の課題(レポートまたは小テストを計 6 回)				50% 50%	①② ①②	
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書	必要に応じて資料を配布する						
参考文献	なし						
その他							